

(別添資料1)

事業所名

こどもデイサービスうみのいえ

支援プログラム

作成日

R7 年

2 月

1 日

法人(事業所)理念		一人ひとりの個性を尊重し、仲間と支え合いながら成長できる場を提供します。安心できる環境の中で、小さな『できた!』を積み重ね、自信と未来を育みます。私たちは、子どもたちの可能性を広げ、明日の人生ステージを彩り豊かにする支援を大切にします					
支援方針		子ども一人ひとりの可能性を広げるために、発達段階や特性に応じた適切な支援を行います。日常生活の中で実践的な学びを提供し、社会性やコミュニケーション能力の向上を促します。安心して過ごせる環境を整え、自立に向けたステップを支えながら、自己選択や自己表現の機会を大切にします。家庭や学校、地域との連携を深め、子どもが自分らしい未来を描けるよう、継続的にサポートしていきます。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣の獲得(手洗い・うがいの定着指導、トイレの自立支援【排泄のタイミング理解、適切な処理】)、着脱・衣類管理の練習 食事マナー(スプーン・フォークの使い方、こぼさず食べる、こぼしたら拭く) 歯磨き習慣の確立、安全意識の向上(道路の安全な歩行・横断の練習)、災害時の避難訓練					
	運動・感覚	粗大運動の促進(体操・ダンス・リトミック活動)、サーキットトレーニング(跳ぶ・転がる・バランス)、風船・ボール遊び(キャッチ、ドリブル、蹴る)、外遊び(海岸活動)、微細運動の発達支援(クッキング活動)、200種類の自立訓練(紐通し・ビーズ遊び・折り紙・ハサミ練習、ボタンかけ・ファスナーの開閉練習ほか) ブロックやアイロンビーズ作成による指先の巧緻性向上					
	認知・行動	自己認識と感情コントロール…気持ちの可視化(感情カード、絵カード)、タイマーを活用した活動の見通し支援、クールダウンスペースの設置と活用方法の指導 計画性・実行機能の強化(スケジュールボードでの1日の流れの確認)、ミッション形式の課題設定(例:●分で●●を達成させる)、タスクの優先順位づけの練習、注意・集中のトレーニング、ストループ課題(色と言葉の不一致テスト)、「間違い探し」「迷路」「パズル」などの知育ゲーム、短時間のワーキングメモリゲーム					
	言語 コミュニケーション	語彙力・表現力の向上…しりとり・なぞなぞ・連想ゲーム、クイズ、絵本の読み聞かせと感想共有、絵カードを使った物の名前や動作の理解促進、会話のやりとり練習 「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」の基本的挨拶習慣。質問応答の練習(「好きな食べ物は何?」「今日何をしました?」) ロールプレイによる会話練習(買い物ごっこ、電話応対練習)、非言語コミュニケーション支援…表情カード・ジェスチャーゲームでの表情理解、身振り・手振りを使った意思表現の強化					
	人間関係 社会性	集団行動のルール理解「順番を守る」「譲り合う」場面の設定。ボードゲームを活用したルール学習。スモールステップでの集団活動参加(ペアワーク→小グループ→全体)。 協力・共感のスキルアップ。チームでの制作活動(共同制作の工作や壁面装飾)、役割分担を決めた遊び、相手の気持ちを考えるワーク(「この時、どんな気持ち?」)、トラブル対応とソーシャルスキル。「けんかした時の対処法」ロールプレイ、感情の伝え方(「○○だから嫌だった」「○○してくれると嬉しい」)、実際の場面を振り返る振り返りシートの活用					
家族支援		定期的、臨時的にも家族面談を開催し、育児や家族に関わる相談や困りごとに寄り添い、課題整理や助言を行う。			移行支援		近隣施設との交流。就労支援事業所への見学訪問。
地域支援・地域連携		地域での福祉職連携会議や2市1町会議や研修会参加、また教育機関、医療機関等との情報交換や共有を重ね連携強化を図る。			職員の質の向上		オンライン研修ツール活用での日々の自己研鑽。毎週、ミーティングでの支援内容の強化確認。
主な行事等		避難訓練(地震・水害・火災・不審者侵入)、外出行事(防災センター、水族館、動物園、食品工場ほか)					

事業所名

うみのいえプラス

支援プログラム

作成日

R7年

2月

1日

法人(事業所)理念	一人ひとりの個性を尊重し、仲間と支え合いながら成長できる場を提供します。安心できる環境の中で、小さな『できた!』を積み重ね、自信と未来を育みます。私たちは、子どもたちの可能性を広げ、明日の人生ステージを彩り豊かにする支援を大切にします					
支援方針	子ども一人ひとりの可能性を広げるために、発達段階や特性に応じた適切な支援を行います。日常生活の中で実践的な学びを提供し、社会性やコミュニケーション能力の向上を促します。安心して過ごせる環境を整え、自立に向けたステップを支えながら、自己選択や自己表現の機会を大切にします。家庭や学校、地域との連携を深め、子どもが自分らしい未来を描けるよう、継続的にサポートしていきます。					
営業時間	9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣の獲得(手洗い・うがいの定着指導、トイレの自立支援【排泄のタイミング理解、適切な処理】)、着脱・衣類管理の練習、食事マナー(スプーン・フォークの使い方、こぼさず食べる、こぼしたら拭く) 歯磨き習慣の確立、安全意識の向上(道路の安全な歩行・横断の練習)、災害時の避難訓練、家電製品や調理器具の使用法の習得。				
	運動・感覚	粗大運動の促進(体操・ダンス・リトミック活動)、サーキットトレーニング(跳ぶ・転がる・バランス)、風船・ボール遊び(キャッチ、ドリブル、蹴る)、外遊び(海岸活動)、微細運動の発達支援(クッキング活動)、200種類の自立訓練(紐通し・ビーズ遊び・折り紙・ハサミ練習、ボタンかけ・ファスナーの開閉練習ほか) ブロックやアイロンビーズ作成による指先の巧緻性向上				
	認知・行動	タイマーを活用した活動の見通し支援、クールダウンスペースの設置と活用方法の指導。 計画性・実行機能の強化(スケジュールボードでの1日の流れの確認)、ミッション形式の課題設定(例:●分で●●を達成させる)、タスクの優先順位づけの練習、注意・集中のトレーニング、ストループ課題(色と言葉の不一致テスト)、「間違い探し」「迷路」「パズル」などの知育ゲーム、短時間のワーキングメモリゲーム				
	言語 コミュニケーション	語彙力・表現力の向上…しりとり・なぞなぞ・連想ゲーム、クイズ、絵本の読み聞かせと感想共有、絵カードを使った物の名前や動作の理解促進、会話のやりとり練習 「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」の基本的挨拶習慣。質問応答の練習(「好きな食べ物は?」「今日何をした?」) ロールプレイによる会話練習(買い物ごっこ、電話応対練習)、非言語コミュニケーション支援…表情カード・ジェスチャーゲームでの表情理解、身振り・手振りを使った意思表現の強化				
	人間関係 社会性	集団行動のルール理解「順番を守る」「譲り合う」場面の設定。ボードゲームを活用したルール学習。帰りの会での自身のニヤリ・グッド発表で自己承認力を高める。協力・共感のスキルアップ。チームでの制作活動(共同制作の工作や壁面装飾)、役割分担を決めた遊び、相手の気持ちを考えるワーク(「この時、どんな気持ち?」)、トラブル対応とソーシャルスキル。「けんかした時の対処法」ロールプレイ、感情の伝え方(「○○だから嫌だった」「○○してくれると嬉しい」)、実際の場面を振り返る振り返りシートの活用				
家族支援	定期的、臨時的にも家族面談を開催し、育児や家族に関わる相談や困りごとに寄り添い、課題整理や助言を行う。	移行支援	近隣施設との交流。就労支援事業所への見学訪問。			
地域支援・地域連携	地域での福祉職連携会議や2市1町会議や研修会参加、また教育機関、医療機関等との情報交換や共有を重ね連携強化を図る。	職員の質の向上	オンライン研修ツール活用での日々の自己研鑽。毎週、ミーティングでの支援内容の強化確認。			
主な行事等	避難訓練(地震・水害・火災・不審者侵入)、外出行事(防災センター、水族館、動物園、食品工場ほか)					